

# IEC超電導国際標準化の推進および 国際共同研究への参画

超電導技術に関するIEC-TC90専門化委員会においてワーキンググループ2(WG2) (臨界電流測定)、およびWG13(超電導線材料)のグループリーダーとして、またWG5(引張試験)のサブリーダーとして国際標準作成のとりまとめを行っています。下表はMgB<sub>2</sub>超電導線材引張試験に参加する国際メンバーのリストです。

Participant	Affiliation
Shutaro Machiya	Daido Univ., JP
Hyung Seop Shin	Andong National Univ. KR
Robert P. Walsh	NHMFL, US
Klaus-Peter Weiss	KIT, DE
Arend Nijhuis	Univ. Twente, NL
Amalia Ballarino	CERN
Marco Statera	Istituto Nazionale di Fisica Nucleare, IT
Kozo Osamura	RIAS, JP
C. E. Bruzek	Nexans, F – Just joined RRT1

SDGsに向けて電気エネルギーシステムの再構築を考える時期に来ています。その根幹として直流送電ケーブルやインバータ等の超電導化により膨大な電力ロスを防ぐことが可能となります。本年度よりIEC-TC90の標準化プログラムの一部として電力の20,000kmにわたる超長距離送電を可能とする超電導直流送電グリッドの開発の基礎研究を実施するとともに国際超電導直流送電に関するワーキンググループの開設を推進します。



超電導直流送電によりすべての発電電力を世界で平準化できるので、同時同量性が担保されます。これにより電力貯蔵の問題は軽減される。

本研究所では長年にわたり超電導技術の標準化の活動を続けてきています、その功績によりIEEEから2019年度Dr. James Wong Awardが授与されました。